

二重行政の解消に向けて

～類似施設の統合効果と課題～

大阪府議会議員
ながふじ ひでき
永藤英機です。



二重行政の問題とは



8

月19日、大阪維新の会府議団として「大阪府立産業技術総合研究所(産技研)」と「大阪市立工業研究所(市工研)」を視察しました。これらの施設は、4年前の大阪府知事・市長のW選挙後に発足した府市統合本部にて「類似・重複している行政サービス」として統合の方針が示されているもの。しかし大阪府・大阪市では

昨年9月議会および今年2月議会の2度に渡って統合協議のための議案が否決されています。そこで今回は、その必要性をあらためて検証するという目的で両施設に足を運びました。

これらの施設は「公設試験研究所(公設試)」と呼ばれ、企業の研究開発を支援するために行政が設置している試験研究所で

す。市工研側からは「強みとなる分野が違う」「相乗効果を発揮したい」との声があるようですが、私たちとしては産技研と統合することとでこれまでにない大きな効果が見出せると考えています。その理由としてまず一つは、異なる分野を統合によって補うことで、企業にとって利用しやすい支援機能が見込めること。そして、類似した2つの施設を大阪府と大阪市それぞれが保有するよりも一本化したほうが管理コストの削減、効率化に繋がるということです。一方で、これまで別々に行ってきた「仕事のやり方」や「文化」の違いなど、統合する際には気をつけなくてはならない点もあります。それでも大阪府民の税金を使って運営している施設である以上、より効率的

かつ効果的なものになるように取り組んでいくべきではないでしょうか。

堺

市にも二重行政があるのか?という話があります。「全く同じもの」という意味なら、ほとんど無いかもしれません。しかし堺市も大阪府と同様の施設を保持していて、管理を一元化したほうが効率が良いと思われるものがあります。例えば、高校や公営住宅です。大阪府立の高校は138校(昼間)ありますが、堺市立の高校も1校だけ存在します。その1校の管理のために堺市教育委員会に体制が必要です。大阪府内のほとんどの公立高校を有する大阪府教育委員会、大阪府立高校として運営することで管理を一本化することができます。行政機能の

効率化は、税金の無駄使いを無くすことに直結します。また、公営住宅については既に大阪市内の大阪府営住宅が大阪市に移管されました。堺市内にも多くの市営住宅と府営住宅が存在します。利用者にとって府営か市営かはあまり関係がありません。「二重行政は無い!」と言い切ってしまうのではなく、類似した事業についてどのようにすればより効率よく運営できるのか、住民にとって利便性の良いものになるのかを真剣に考えなくてははいけません。



8月19日
大阪市立工業研究所にて



定足数を満たさず
流会になった第2回大阪会議

8月13日に予定されていた大阪戦略調整会議（大阪会議）は自民党と竹山堺市長の欠席により流会となりました。そもそも大阪都構想の対案として、自民党が提出して設置された大阪会議。それを当の自民党が欠席するという考えられないような事態です。

また、自民党府議団は会議の議決方法を変更するために臨時議会の召集を求め、8月26日から8日間の日程で行われることになりました。これは、5月議会の採決の直前に自民党が変更した内容を、再び変更するものです。

5月に大阪市内で行われた住民投票の際、反対する他会派は「仕組みを変えなくても話し合いで解決できる」としてきました。そして都構想が否決された後に大阪会議が設置されました。しかし実際は、自分で提案したその会議にすら出てこない状況です。今月号の特集でも取り上げたように、二重行政の課題は依然として残ったままです。大阪維新の会は、「都構想が廃案になった今、何も無いままよりは話し合いだけでも」と大阪会議の条例案に賛成しました。大阪が抱える問題を逃げることなく直視し、解決に向けて前進することに真摯に議論に望んでほしいものです。

● 出前 府政 報告会、行います！ ●



3名様以上お集まりの場にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。（会費無料）

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索

毎月
発行して
います！



コラム「世界遺産の国内推薦、見送り」 ～百舌鳥・古市古墳群～

月刊永藤タイムズ7月号では大阪府と堺・羽曳野・藤井寺市が世界遺産登録を目指している「百舌鳥・古市古墳群」の特集を組みました。登録を実現するには、まずは年にただ一つの狭き門である国内推薦を勝ち取らなくてはなりません。そして運命の日、7月28日。結果はご存知のとおり「見送り」となりました。私も4年前の初当選以来、議会で何度も議論してきましたから本当に残念な思いです。しかし今回の見送りによって百舌鳥・古市古墳群の価値は少しも損なわれるものではありません。世界遺産登録の目的は、まずは保護。百舌鳥古墳群だけでも、100以上あったものが地域の開発が進んだ結果、今はその半数も現存していません。貴重な古墳群を守るためにも厳しい基準で保全を求められる世界遺産登録は有効です。そして付随的に、登録によって観光客の増加が見込まれます。これは該当地域の経済効果に繋がり、ひいては税収増、住民サービスの向上にも結びつきます。今回は残念な結果になりましたが、私は引き続き大阪府議会議員として百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録が実現するよう行動していきます。堺区の皆様には、登録を目指して引き続き応援していただけますと嬉しく思います。

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ（39歳）。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。（堺市堺区選出）大阪維新の会大阪府議団・副政調会長



■ 府政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで！

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、
ご感想を
お寄せ下さい！

